

陣友音信 (二)

— わたし共の幼稚園の近況報告 —

倉 橋 惣 三

○この四月以來、東京都の公私立幼稚園が休園してゐるにけつて、わたし共の幼稚園はどうしてゐるか、諸方の陣友から度々のおたづねを受けます。その都度簡單な御返事はしてゐますが、けふは少しくわしく近況を御報告いたしませう。心にかけておたづね下さる御親切を感謝すると共に、戦時下幼稚園の重大な任務をも明かにしたいと思ひまして、こゝにわたし共の幼稚園とは東京女子高等師範學校の附屬幼稚園のことでありますが、一々そう書くのは長々しいし、陣友同志の親しみづくに、こんな言ひ方を許していただきます。

○東京都の問題が、時局の情勢に鑑みた幼稚園の當分の休園であつて、幼稚園の廢止や停止でないことはいふまでもありません。時局の情勢に鑑みといふ理由にもいろいろの内容があるかも知れませんが、空襲必要とされてゐる都下において、幼児の集團生活が危険であることに、何人も異論はありません。そこで當分の間休園といふことも、その慮りからは尤もな對策の一つに相違ありません。

せん。わたし共の幼稚園は官立ですから都長官の管理外ではありませんが、その園児は同じく東京都の幼児であります。わたくし共としても考へなければならぬことは當然でありました。しかし、女子高等師範學校の附屬幼稚園の任務には、一般幼稚園と異なる點もあり、又、戦時下においてこそ國策として幼児保育施設の任務の益々重大化せられる所もあり、素より休園すべきではありませんでした。但し、その運営は平時と同一であることは出来ません。そこで、文部省の諒解の下に、六月から次の如き臨時措置が講ぜられました。

- 一、極力幼児の疎開を勸奨すること
- 一、遠距離通園者には長期缺席を認めて自發休園を勧めること
- 一、右該當者にて休園を欲しない者には、幼稚園近距離に臨時特別保護者を設定せしめ、非常警報時の處置に備へさせること

と
一、從來の待避壕を一層整備すると共に、幼児の待避訓練を強

化する事

一、家庭の戦時下としての實情に應じ、保育時間を、朝早くより午後遅くまで延長すること

一、右と同一の必要に應じて、夏休を變し特別保育を行ふこと
此の各條項を着々實行いたしたことは申すまでもありません。

○ところが、その後戦局の情勢は愈々熾烈を極めて参り、以上の臨時措置では不充分になりました。そこで、再び文部省の許可を得て、附屬幼稚園規則に改正が加へられ、九月から第二の臨時措置が講ぜられることになりました。これが現状であります。

一、規則改正による學校長の新権限を以て、すべての遠距離幼稚園者に當分の間の休園を命じました。その期間は豫め定めることは出来ませんが、その間、附屬幼稚園園児としての在籍の繼續を認め、各自の休園中保育料を徴收しません。幼児の休園で幼稚園の休園ではありません。

一、以上は非常警報時に備へるためでありますから、幼児の徒歩にて十分以上の通園者は、之れに該當することとし、その數は全園児の殆んど大部分に及び、十分以内の通園者二十八名だけが残りました。

一、同時に、同じく改正規則による學校長の権限によつて、隣保幼児の特別期限内臨時入園を募集しました。すべて幼児徒歩十分以内の者に限りましたから、おのづから學校近接の町内の幼児といふことになり、豫めそれらの町會會長諸君と連絡の上、募集にも隣組廻覽板を利用しました。これは募集の便宜をはかると共に、わたくし共の所謂「近所幼稚園」の親し

みを出したい心もありました。

一、從來、わたくし共の幼稚園の入園者は、希望者が都内全區の知的家庭極めて多數に上り、抽籤と簡單ながら心身の檢定によつて、入園は甚だ困難とせられてゐました。又幼稚園としては家庭を選択するといふことはありませんでしたけれども、學校附近の街上に遊んでゐる幼児達、即ち近所の子どもにして、却つて、入園を志望しないものが多いといふ風もありました。これは幼稚園として決して意圖するところではなかつたのですが、一種の慣はしのやうな觀がありました。それに對し、こんどの募集は全く趣を變へ、結果をも變へました。

素より幼稚園の本質として、特に家庭を限定するといふことはしませんでしたが、たとへば、(一)戦歿者遺児、(二)出征家族の幼児、(三)軍需その他増産に多忙なる母の幼児、等に先入權を與へて、八十七名の新幼児を迎へました。

一、之れに加へて、本校内にある特設中等教員養成所生徒すなはち戦歿者未亡人の寮が新たに學校に近く移り來つた關係上、從來はその附設保育所で保育せられてゐた幼児達を、わたくし共の幼稚園に受入れることとなり、戦時幼稚園の貴重なる一中核となつたのであります。

斯くして、わたくし共の幼稚園は、全くの隣保の幼稚園になり、又戦時保育の任務に與るものになり、保育時間も當然家庭の必要に應じて適宜延長せられ、その結果、女子高等師範學校の保育研究所たり、保育實習所たる任が一段と充實せられると共に、戦時下幼児保育の重責が、必ずしも保育所のみならず、幼稚園によ

つて正しく負擔せられることを明かにしたのであります。近時のわたし共の幼稚園をお訪ね下さる方々は、從來の所謂附屬幼稚園とは外貌を異にせる處あるを認められると同時に、戦時幼稚園として健全なる活動を進めつゝあることを御覽下さると思ひます。わたくし共職員が此の漸方向に沿ふて、如何に緊張してゐるかは申すまでもありません。

○以上、大層々々とわたくし共のことを申し上げましたが、幼稚園では戦時下の保育に盡せないとか、そのためには名稱を保育所に變更しなければならぬとか、甚しきは幼稚園の本質そのものが非戦時的のものであるとか、さまざまの誤れる論議や實施さへ行はれてゐると聞く今日、おまへのところはどうしてゐるかといふ懇篤な感情と、幼稚園そのものゝために憂慮せられる理性とに對し、聊かお心強く御聽取願ひたいと思つての御報告であります。わざと議論を避けましたのも、日本の幼稚園の眞の使命のためにわたくし共が固く保持してゐる信念を、實行として御報告したかつたからであります。お國のこの大切な時に當つて、日本の幼稚園の戦下の御奉公における、正當なる發達と逞しい活動とを希つてやみません。陣友皆さまの御健康を祈ります。

○さて、戦時下の保育にいろ／＼重要な問題のあることはいふまでもありませんが、分けて、戦力増強の方面と、軍人援護の方面だと思ひます。戦力増強のために少しでもお役に立つことの緊急なことは、更めて申すまでもないとして、軍人援護といふ方面から、戦死者遺児たる幼児、出征家庭の幼児達のために、その家庭保育を補ふて缺陷なからしめることも、極めて重要であります。

○お國のために、直接戦争のために、その父を失ひ、或は父を不在ならしめてゐる場合、その子らないたわり、慰めることは、國

民同志の大きな任務で、國としても大規模な援護事業が行はれてゐますが、幼児のために、特にどれだけ周到のことが、行いつてゐませうか。學童のためには、國民學校といふ施設を通して、またまつた世話も指導も出來易いし、青年ともなれば、學資給與などの方法で、はつきりした援護が出来るのですが、幼児は各家庭の子として、その援護指導のしかたが、時に直接には徹底しにくい事情もありませう。しかし、それだけに、その必要は最も多いでありませう。

○これらの家庭の個々事情はいろ／＼であり、それ／＼に従つて援護の方面も違はざるを得ません。經濟援護の必要の場合も少くありますまい。しかし、その最も明かなのは、母の多忙といふことであり、その最も深刻なのは片親といふことであります。母の多忙の方は、たとへば、授産場に附設せられてゐる託兒所の如きその施設でありまして、その場合、またまつた世話の出來る便宜もあるといへませう。しかし、そういふ施設が、往々にして、授産事業を主體とするために母の働いてゐる間の「預り場」といふ、一種の附隨的便宜施設と考へられて、幼児保育そのものとして充分に意も方法も盡されなかつたりすることがあります。これは、是非幼児保育本位の考へで力を籠められなくてはなりません。

○片親といふことに就ては、その幼児の教育上、最も深い注意を要する點であります。片親たることその事が直に教育上の缺陷になるといふのはわりません。殊に、この場合、父は名譽の英靈であります。そこに寧ろ積極的意義もありませう。しかし、家庭としては特別な形態で、そこに保育上注意すべき問題の伴ふことは免れますまい。わたし共の幼稚園の今の一つの大きな研究がここにゐることも、序に御報告して置きます。